躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

主な内容

2面 まだまだ続く雨対策の決定版！
3面 家の上下から住空間を守る！
4面 太陽光買い取り終了検討

発行所
埼玉県さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048・688・3388
FAX 048・680・7615
株式会社 躍進
編集・発行人
笠井 輝夫
頒価：216円（送料込み）

猛暑対策の決定版！ 遮熱塗料の季節が到来！

七月を迎え、本格的な暑さが訪れます。昨年、一昨年の異常な暑さは、もはや殺人的といってもよい猛暑でした。今年もこの暑さから逃れることはできないでしょう。

そこで、この季節の定番商品となった、熱交換機能を持つ**遮熱塗料**に、ご注文、お問い合わせが多数寄せられています。

家全体の温度上昇を抑制し省エネする

遮熱塗料の特徴は、二五℃を分岐点に、入熱をコントロールするところにあります。

塗面は熱を貯めにくい性質をもち、同時に高い耐久性を示します。気温が二五℃以上の場合、熱緩和反応を示します。また、気温が二五℃を下回ると熱収縮が始まり機能材の構造特性によって、室温低下を抑制します。

一般的な折板屋根の夏季の表面温度は、六〇℃から八〇℃ほどにまで上がることがあります。しかし、遮熱塗料を用いると屋根表面温度は四〇℃程度に抑えることができます。

躍進本社の社屋・屋根において遮熱塗料を塗装し、熱交換効果に関するデータも取得しています。さらに、子供たちに遮熱塗料を塗布したエリアに立ってもらい、炎天下でも足裏が熱くならないことを示しました（**写真右参照**）。

また、防水箇所、一般塗装部分、外装など、あらゆる部分に、各種の遮熱処理を行い、室温をコントロールします。そうすることで、家全体の温度上昇の抑制効果、省エネ・節電効果が期待でき、経済的なメリットだけでなく、住まわれる方の健康増進にも有効です。

もしエアコンが故障すれば、家の中でも熱中症に見舞われる時代です。今こそ遮熱塗料で家全体を「遮熱仕様」に変えましょう。躍進までお気軽にご相談ください。ご連絡をお待ちしています。

躍鉾盤

(株)躍進
代表取締役
笠井輝夫

令和における躍進は、「漸進（ぜんしん）主義の生き方改革」を実践している途上です。

漸進とは「徐々に段階的な方法で緩やかに」という意味です。過激的要素が含まれている急進主義の対極にある言葉です。

そして、躍進では、持続可能な黒字経営を目標にしております。それを達成するための課題一つひとつを確実に実現させることで、目標に近づくのです。

課題を分類し、実行の優先順位を決め、バランスを考えながら、他者との調整を取り、緩やかでも確実にやりきる漸進的なやり方を実行します。もちろん、事に当たる時には、熱意とスピードを持ってやることが必要です。

このような信念を背景に、躍進では、持続可能な黒字経営の根を広く深く浸透させる「年輪経営」をめざします。

「年輪経営」は、樹木の年輪のように、毎年少しずつ成長している様子を意味しています。つまり、決算期において、昨年より、少しでも業績が伸びている状態を継続させていくということです。

理想は、対前年比一〇パーセントアップですが、伸び率の目標は、チームメンバーで決めれば良いと思います。

もちろん、昨年よりは業績を少しでも伸ばすことが何よりも肝要なのですが、人員増や設備投資があっても、その経費分を補充しながら、多少でも前年比アップを実現することが「年輪経営」の目標です。

大樹も根がなければ育たないのです。企業に例えれば、その根は黒字経営です。黒字経営という根のうえに、幹があり、枝葉があるのです。最低限、前年比よりも一％でも伸びていればよいという考えは極めて重要です。これに加え、対前年比を下回らないようにすることはいうまでもありません。

改めていえば、利益は企業の目的ではなく、条件なのです。これは、極めて強い位置付けです。利益が条件である以上、企業活動のすべてに常につきまとうだけでなく、利益確保に関して、極めて強い意志を示さなければならないからです。

利益とは、企業存続の条件なのです。利益とは、未来の費用、事業を続けるための費用なのです。

躍進の「年輪経営」は、まさに明るい未来を実現する手法なのです。栄えある未来に、みなさまと共に生きる令和の躍進に、どうぞご期待ください。

FRP防水再施工と赤外線漏水調査システムはまだまだ続く雨対策の決定版！

梅雨のシーズンは過ぎても、台風や大雨、ゲリラ豪雨など、雨による被害が予想される季節はまだまだ続きます。

躍進のFRP防水再施工と『赤外線漏水調査システム』は、まさにそんな雨対策の決定版です。

2PLYと「サンドウィッチ工法」が決め手

躍進のコアコンピタンスであるFRP防水の保証期間は一〇年ですが、防水層を保護するトップコートの塗り直しなどを怠ると、防水効果が薄れていることもあります。

日常生活での履物によるトップコートの損傷だけでなく、ドレン部分の詰まりによるオーバーフローなどには、適切な対策が必要です。

FRP防水は、当社独自の2PLY＋ドレン部分の「サンドウィッチ工法」が最大の特徴。ガラスマット一層の場合では、立ち上がりの塗膜不足や入隅・ジョイント部分の動きが大きい場合に不安が残りますが、ガラスマット二層に中塗り、トップコートという手順の場合、入隅部が四層になるため安心です。

前述のように、ドレン部分には「サンドウィッチ工法」を採用し、躯体の動きに追従して破断、ひび割れ、剥離を防ぎます。

FRP再施工

温度差を利用し漏水箇所を色で示す

専門の調査会社が、調査・補修を何度もくりかえしていながらも、一向に雨漏り被害が改善されないというケースは、あちこちで聞かれます。

そうしたお悩みを一気に解決したのが、サーモグラフィ法による『赤外線漏水調査システム』なのです。

赤外線は、温度を持つすべての物体から、その温度に応じた波長分布によって、自然に放射されます。その温度に応じた波長分布を、色画像として示し、様々な状態を分析する装置がサーモグラフィです。そのため、今まで発見できなかった雨漏りの侵入口も明確に特定することができます。

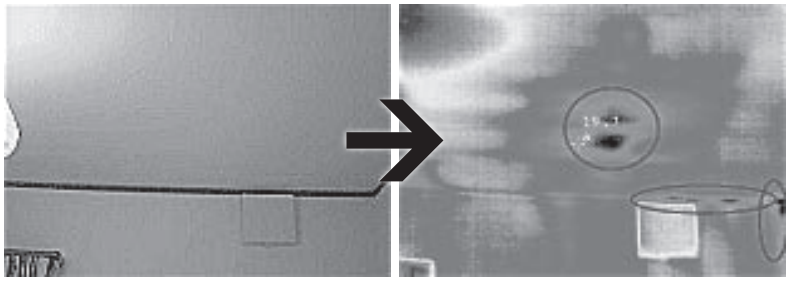
サーモグラフィの特徴は、広い面積を同時に捉えることができるため、モニター上に映し出される温度の相対比較をひと目で分析できます。

例えば、**右下二枚の写真**は、天井の一部と天井と壁の間が漏水している写真です。

誌面はモノクロであるため、ちょっと分かりづらいかもしれませんが、サーモグラフィ上では、部屋全体の温度は緑色で表示されています。

そして、暖房などで室内が暖まると赤色に変化します。しかし、漏水箇所は水色で表示されるのです。サーモグラフィ上では、中央部分には、水色を通り越して、濃い青色が示されており、ここが漏水箇所であることが分かります。

これからの雨対策に、ぜひFRP防水再施工と『赤外線漏水調査システム』をご利用ください。ご依頼、お問い合わせは躍進までお気軽に。

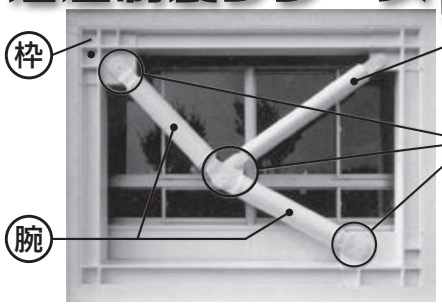


開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ！

ますます好評！

増幅機構付き油圧制震ブレース トグル制震構法



オイルダンパー
日立オートモティブシステムズ（旧トキコ）社製。
半永久的に使用が可能です。

クレビス（回転支承部）
強度に優れた鍛造品を使用しています。
鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。
一般的に疲労度が大きい箇所や靭性が必要とされる部分に使われます。

鋳造品ではなく
鍛造品を使用！

お問い合わせは躍進までお気軽に！
〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

人工芝と「床下3点セット」で

家の上下から住空間を守る！

躍進のリフォーム総合提案「足場パック」は、現在サマーキャンペーンの真っ最中です。夏季においては、遮熱塗料（**本号一面参照**）と合わせて、屋根や屋上に**人工芝**（**左上写真参照**）を敷設し、家の〝上〟を整えます。さらに、床下点検とともに、シロアリ・腐朽菌対策の目玉商品となった『**飛騨炭 床下調湿材**』『**カーボエース**』『**床下用攪拌・換気システム**』の「**床下三点セット**」（**左下写真参照**）で、家の〝下〟を整備し、快適な住空間づくりをお薦めしています。

遮熱塗料と併用し室内を猛暑から守る

もうすっかり躍進の夏の定番商品となりました人工芝。天然芝の代替品というコンセプトから脱却した高級感溢れる品質が大いに注目されています。

天然芝は、目土（めつち）をはじめ、肥料、芝刈り、養生等極めて多くの手間がかかり、素人には管理が難しいものです。

しかし、人工芝はお手入れがほぼ不要。放置しても荒れることもなく景観も維持されます。耐久性も風合いも優れたものが数多くラインナップされています。

屋根や屋上に天然芝を植え込んで、室内を猛暑から守るシステムはありますが、天然芝は管理上の問題等で、限られた形状のお住まいにしか用いることはできません。

しかし、躍進の遮熱塗料と人工芝を併用すれば、同じような効果が期待できます。現在、遮熱塗料と合わせてのご注文、お問い合わせが多数寄せられています。

床下にはなくてはならないツール

「床下三点セット」は、一年を通して、たくさんのご注文、お問い合わせが寄せられています。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛騨炭床下調湿材』は、床下に一坪あたり約十二袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気も遮断します。

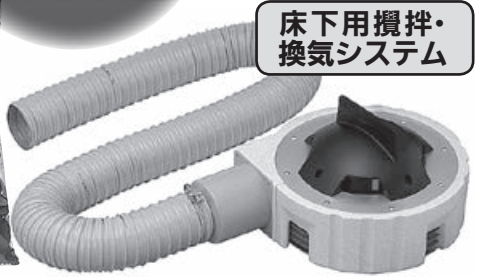
同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また土中から放出されるガスを吸着するほか、ph調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気（新方式）により一台で二〇坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇三台分に相当します。

換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気します。それにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

夏のシーズンには、家の内外のケアを〝上下〟の視点で実施してください。躍進までご連絡を。

おかげさまで、「足場パック」の目玉商品となりました。



床下用攪拌・換気システム

RC造の置き床下でも羽蟻が発生！

左の写真は、RC造のお住まいの置き床下で羽蟻が発生した様子を撮影したものです。細かく散乱しているのは羽蟻の羽なのです。

ベタ基礎の場合、床板のコンクリートと立ち上がりのコンクリートを別に施工しますので、継ぎ目に僅かながら隙間が生じてしまい、そこからシロアリの侵入を許してしまうのです。

また、基礎部分を通っている配管や配線の塞ぎ目が劣化し、そこにシロアリが穴を開けて侵入するケースもあります。さらに蟻道を形成し外壁の隙間から侵入することや、羽蟻自体が飛来して侵入することもあります。

まさにこれは、木造住宅に限らず、すべてのタイプの住宅の床下チェックが、いかに重要であるかを裏付ける証拠写真といえましょう。

ニュース・新製品・政策・経営・インフォメーション

経産省 太陽光買い取り終了検討 全量・固定価格やめ 負担軽減へ

このほど経済産業省が、太陽光発電など再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度の終了を検討していることが分かりました。つくられた電気の全量を一定価格で電力会社が買い、費用を電気料金に上乗せする仕組みで消費者らの負担が増したことに対応するためです。

再生エネ拡大と負担軽減が両立するような新制度をつくる方向で議論を進め、二〇二〇年度の法改正を目指します。

現在の制度は二〇一二年に開始。特に太陽光発電の拡大に貢献し、二〇一八年末の再生エネの設備は制度導入前の約二・二倍に拡大しました。

一方、電気料金に上乗せされる「賦課金」は二〇一九年度で約二兆四〇〇〇億円に上り、一般的な家庭で月七六七円の負担となる見通しです。

マンション購入時の重視点「最寄駅からの距離」が最多

マイボイスコム調べ

マイボイスコム（東京都千代田区）はこのほど、一六回目となる「マンションのブランドに関するアンケート調査」の結果を発表しました。

マンション購入経験者・意向者に対して、マンション購入時の重視点を聞いたところ、「最寄駅からの距離」が六八・四％で最多でした。

次いで「生活環境の利便性（買い物、教育など）」「日当たり・採光」「間取り」が各六から七割で続きました。

重視点の多くで女性の回答数が男性を上回り、「日当たり・採光」「住居の向き（南向き、北向きなど）」「地域の治安」「間取り」「収納スペース」などは特に男女差が大きくなりました。

価格や間取り、仕様や立地などの条件がほぼ同じと仮定した場合に「一戸建て」と「マンション」のどちらに住みたいかを全員に聞いたところ、「一戸建て」が五二・八％、「マンション」が二一・三％でした。「一戸建て」の回答は、女性よりも男性の方が多かったようです。また、北陸、中部、中国、四国の回答者は「一戸建て」が各六〇％台と高かったようです。

「一戸建て」に住みたい理由を聞いたところ、「庭を造ることができる」「駐車場代がかからない」「管理組合などのわずらわしさがない」などがあげられ、それぞれ四割で上位となりました。

「マンション」に住みたい理由では、「セキュリティが充実している」「設備のメンテナンス・清掃などの負担が少ない」「機密性、断熱性が高い」「設備（床暖房や浴室乾燥機、宅配ボックスなど）が充実」が各四から五割で上位でした。

そのほか、マンションブランドの認知度を調べたところ、全体では「ライオンズマンション」が五割強、「プラウド」「ザ・パークハウス」が各三から四割となりました。

同調査は、五月一日から五日に実施したものです。回答数は一万三一二件でした。

笠井輝夫の新刊『昭和と平成を翔け抜け令和へ』

定価1,300円+税　高木書房

躍進の代表取締役・笠井輝夫社長は、令和元年6月に新刊を上梓いたしました。平成24年2月に上梓した『「共感・連帯」「結束・絆」』に続く2冊目の本です。

主に、平成時代における「ビジネスマン笠井輝夫」の歩みと、2度にわたる大病を克服した経緯を中心に綴っています。

昭和時代の笠井社長は、やんちゃな少年がそのまま大人になり、結婚し子供にも恵まれましたが、仕事の面では決して順風満帆ではありませんでした。

しかし、平成2年に、新潟県に本社を置く防蟻業者・株式会社ピコイに入社して以降、まさに水を得た魚のように大活躍します。その後、平成12年10月に躍進を設立し、現在に至るのです。

そのような中、平成24年11月28日に脳内出血を発症。一命を取り留めるものの、左半身に障がいが残り、リハビリを日課とする毎日となります。さらに、平成26年12月15日には、肝臓に癌細胞がみつかり、手術を余儀なくされます。

脳内出血で体の機能が失われた時などは、一時は絶望し、ベッドの中で男泣きする毎日だったといいます。しかし、そんな試練を乗り越え、笠井社長は不死鳥のように甦りました。

病気の影響で、現在も左半身の自由は十分に利きませんが、本の中で、失ったもの以上に大きなものを得たという喜びを、率直に表しています。その嘘偽りない気持ちは、表紙の笑顔に表れています。まさに、副題の「喜び生活、喜び仕事、喜び幸福人生を楽しむ！」ことを実践している証拠なのです。

それは、笠井社長が、誰よりも「ポジティブ・シンキングの実践者」であるからです。笠井社長に接したすべての人は、その生き様を感じ、気付きを得るといいます。本書で、その生き様とポジティブ・シンキングのエッセンスを感じてください。

株式会社 躍進
本　社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 TEL048-688-3388 FAX048-680-7615
東京営業所 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F TEL03-6804-2541 FAX03-6804-2542
URL=http://www.yakushin.jp　E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社 株式会社ヤクシンジャパン 不動産事業
関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ

事業内容
防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き
木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気 等
塗装工事：各種塗装
外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断